



masc-jp.com



一般社団法人 MASC

(岡山県倉敷市水島地域への航空宇宙産業クラスターの実現に向けた研究会)

事務局 | 〒 710-0046
岡山県倉敷市中央1丁目6-23
くらしき空飛ぶクルマ展示場

MAIL | info@masc-jp.com

MASC

第8版 (2026年1月19日)



SPACE is OPEN >>>

低空域経済圏が始まる。

The Low-Altitude Economy Begins.



空の移動革命 最前線

2028 年に向けた瀬戸内の空から、低空域経済圏を始める

MASC は、国内屈指のコンビナート工業地帯を有する岡山県倉敷市を本拠地に、瀬戸内から日本各地へ広がるフィールドで、空飛ぶクルマやドローンなど次世代モビリティの社会実装を推進する団体です。

国内外のメーカー・自治体・教育機関と連携し、実証事業、人材育成、産業振興を展開。新たなビジョンを見据え、先駆的にバーティポートを実装し、空の回廊を基盤とした新産業と地域の未来づくりに挑戦しています。

ビジョン
Vision

Beyond 2025

瀬戸内から広がる、低空域経済圏の社会実装

「Beyond 2025」から次のステージへ。

瀬戸内を起点に、空飛ぶクルマ・ドローン等を活用した低空域経済圏の社会実装を推進する。地域が主語となり、行政と民間の協働、社会実装・教育・地域共創の三位一体によって、新たな産業と人材が循環するエコシステムを構築し、全国・海外へと展開する。

» キーワード

社会実装／教育／地域共創／官民連携／瀬戸内モデル／全国・海外展開



大型ドローンによる物流プロジェクト
(写真提供:DBA)





重点分野1 瀬戸内コリドー・低空域経済圏の形成

瀬戸内地域を軸に、空飛ぶクルマ・ドローンを活用した
** 新たな交通・産業インフラ（低空域コリドー） ** を構築する。

- ・機体実証（EH216L、V2000CG、EVE等）
- ・バーティポート実証（水上・港湾・工業地帯）
- ・運航システム・通信・安全基準の検討
- ・広域コリドー構築とデータ連携による運用モデル化
- ・岡山県内（児島・宇野・牛窓・笠岡）および兵庫県等での実装検討



EH216-Sデモフライトの様子

重点分野2 先進的ローカルモデルへのチャレンジ（観光・物流・防災／医療）

地域が主体的に参画する持続可能なAAM導入モデルを確立し、
官民共創による運営・制度モデルを実装する。

- ・自治体等との協定締結（倉敷市、備前市、瀬戸内市、浅口市、関西学園）
- ・小規模PFIによる整備・運営モデルの試行
- ・指定管理モデルの検討（地元企業・NPO参画）
- ・制度整備支援・運航ルール策定
- ・全国へのローカルモデル展開

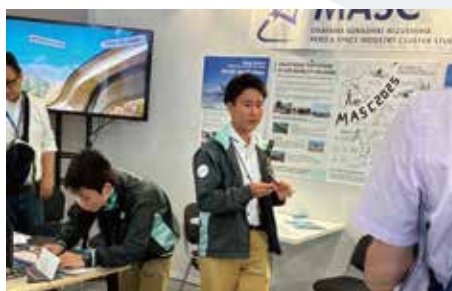


ドローン部会活動状況

重点分野3 人材育成・研修プログラムの強化

実証フィールドを「学びの場」とし、
次世代を担うローカルイノベーターを育成する。

- ・企業・自治体向け研修（短期講座・現地研修）
- ・PBL教材・探究プログラム開発
- ・大学・高専との連携研究、インターン受入
- ・専門人材育成（運航・整備・地域調整）



パリエアショーでの高校生の活動
(写真提供: 関西高等学校)

重点分野4 全国ネットワーク形成と普及・啓発

立場を越えてつながる緩やかな共創ネットワークを形成し、
知見と実装事例を社会へ広げる。

- ・AAM地域フォーラム／流域ミーティング開催
- ・オンライン情報共有チャンネル運用
- ・国・自治体・研究機関・海外との情報連携
- ・多言語による国際発信



空飛ぶクルマ関西フォーラム(2025年3月)登壇者



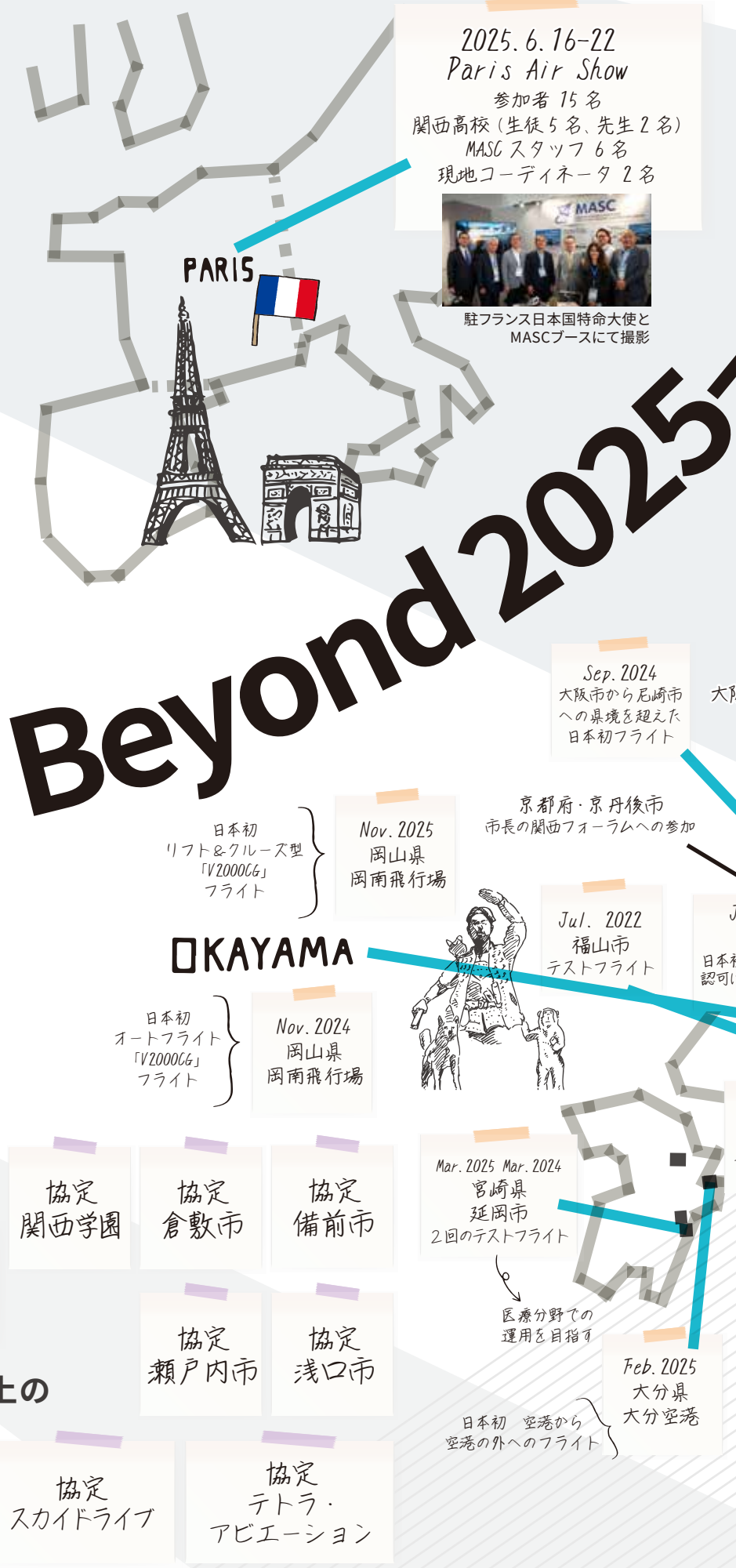
A
2021年6月 日本初、EH216 無人飛行
日本で初めて、国土交通省認可による屋外でのEH216-S 無人飛行に成功しました。笠岡ふれあい空港（岡山県笠岡市）。



B
2024年9月 大阪ヘリポート・尼崎フェニックス用地での試験飛行
日本で初めて、県境を超えた試験飛行に成功しました。この試験飛行は、大阪府・兵庫県・大阪市の補助事業の一環として実施しました。



C
2025年2月 日本人飛行オペレーターによる初飛行（香川県直島）
海外メーカーによる機体に対して、日本人が飛行オペレーターとなった試験飛行を、MASCとして初めて実施しました。（協力：ベネッセグループ）

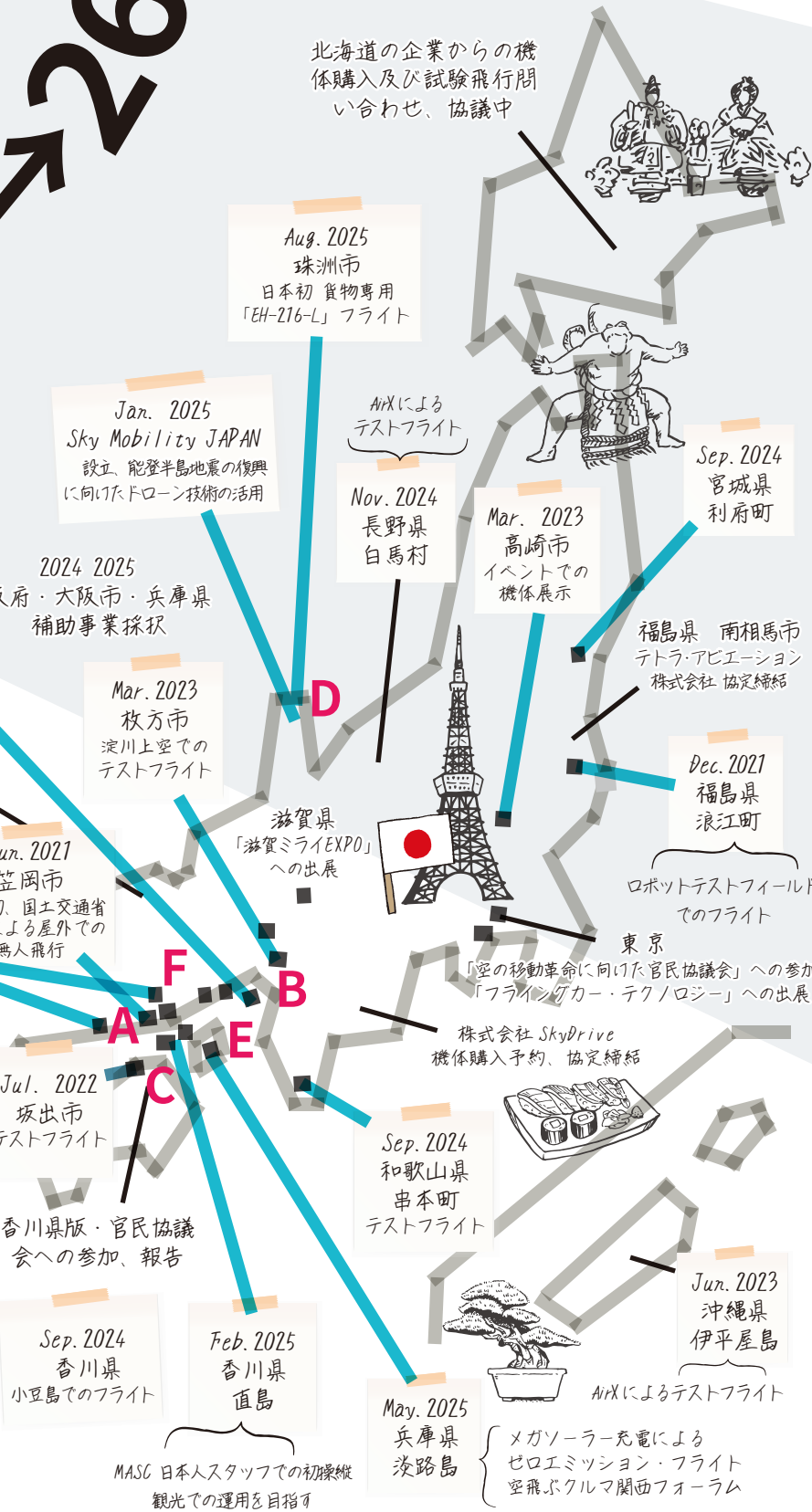


瀬戸内海を中心に 120 回以上の
テストフライトを実施

1兆円産業を立ち上げる

地域経済の発展に向けて

26



D
2025年8月 離島・中山間地 物流プロジェクト社会実験

これまでに下津井港～六口島（約4km）、笠岡ふれあい空港～北木島（約9km、レベル3.5）危険物輸送）などの社会実験に成功しています。2025年8月には、石川県珠洲市において、物質輸送に特化したEH216-Lの国内初飛行が成功しました。



E
2025年3月 淡路島で太陽光パネルで発電されたクリーンエネルギーでの初飛行

（県境を超えた日本初飛行／大阪府・兵庫県・大阪市の補助金事業の一環として実施）



F
2025年12月 オートフライト「V2000CG」でのデモフライト

岡南飛行場（岡山県岡山市）および児島湖上空において、飛行距離6.3kmのデモフライト、「リフトアンドクルーズ型」eVTOLの飛行性能を公開するフライトとして日本初。

空を飛ぶ先進技術

MASC が保有する 空飛ぶクルマ (eVTOL)

MASC の eVTOL 機は、未来の空の移動を形にする飛行実験機です。安全で便利な空のモビリティの実現に向けて、日々飛行と検証を重ねています。

EHang EH216-S JX0176 / JX0190

マルチロータ型の無操縦者航空機



機体サイズ	横幅 5.73m 奥行き 6.05m 高さ 1.93m
最大離陸重量	620kg
搭乗者数	2人乗り(地上からコントロール、または自動飛行)
最高速度	時速130km(設計)、時速90km(通常運航)
最高高度	120m (AGL)、1,000m(MSL)
巡航距離	最高 30km 25分飛行可能
推進機構	完全電動(電動モータ×16基、8アーム)

AUTOFLIGHT V2000CG JX0189

低空物流や緊急輸送、災害救助などに利用



機体サイズ	横幅 約15m 奥行き 11.5m 高さ 3.3m
最大離陸重量	2,000kg
巡航速度	時速162km (固定翼モード)
最長飛行実績	250km
推進機構	リフトアンドクルーズ型
飛行モード	垂直離着陸型 無操縦者航空機
動力源	電動(充電式)

EHang EH216-L JX0200

貨物用の大型無人航空機(大型のドローン)



機体サイズ	横幅 5.71m 奥行き 5.72m 高さ 2.18m
搭載可能重量	200 kg(資料条件:搭載150kgで試験値)
巡航速度	80-100 km/h(経済巡航速度)
最大速度	時速 130km 最高高度: 500m (AGL)
巡航距離	最高 35km 25分飛行可能
推進機構	大型マルチモーター(電動)、eVTOL方式(滑走路不要)
搭載機器	外部監視カメラ、GPS



SCAI28

Setouchi Community AAM Infrastructure 2028

プロジェクト
project

一般社団法人 MASC、瀬戸内エリアにおける 空飛ぶクルマの事業化に向けてプロジェクト開始！

MASC はこれまでに、日本各地で百数十回の空飛ぶクルマ実証飛行を重ねています。そうした実績を元に、大阪・関西万博を経て、大阪から北九州へと広がる瀬戸内エリアにおける空飛ぶクルマの事業化を目指すプロジェクト「SCAI28（スカイ28）」を展開しています。

瀬戸内エリアは、大小さまざまな島々が点在し美しい海と島々の風景に加え、歴史的な名所も多数存在し大きな観光資源を持っています。また、同エリアは温暖な気候と豊かな海の恵みを受けて、柑橘類（みかんなど）や海産物（牡蠣など）を産出し、瀬戸内海沿岸には大規模な工業地帯や産業都市も発展しています。

こうした豊かな資源・産業に恵まれた地域である一方、人口減少や高齢化問題に加え、瀬戸内海沿岸部と内陸部や離島では交通アクセスの格差が拡大しています。



オートフライトV2000CG 飛行（岡南飛行場）

沿岸部では、新幹線や高速道路、フェリー、本州と四国を結ぶ幹線橋（明石海峡大橋、瀬戸大橋、しまなみ海道など）などの交通インフラが整備され、移動が非常に便利になっています。一方、内陸部のアクセス網および離島交通は、地域住民の生活に直結する重要なインフラでありながら、十分な整備が進んでいる状況ではありません。こうしたアクセス格差を改善することは、同地域の人口減少や高齢化問題解決だけでなく、地域産業振興に欠かせません。

MASC では新たな空の交通手段として注目を受ける AAM (Advanced Air Mobility: 空飛ぶクルマ事業) を活用し、こうした課題解決に取り組むプロジェクト「SCAI28」を開始しています。

➤ **目標** SCAI28 では、2028 年頃を目標に AAM インフラ整備を狙って、以下のような課題解決を目指しています。

- ・内陸部や離島間アクセスの改善（既存交通インフラとの相乗効果）
- ・AAMを活用した訪問医療などの住民サービス改善
- ・瀬戸内の観光資源への交通アクセス改善・AAM付帯産業および人材の育成

購入予約済み機体一覧



EHang
VT35



株式会社SkyDrive
SKYDRIVE (SD-05型)



テトラ・アビエーション株式会社
Mk-7

瀬戸内コリドー

未来の空の移動を支えるネットワークの全体像

空飛ぶクルマの安全・効率的な運航を実現するために、MASCではコリドー（空のルート）計画を策定しています。地域ごとの実証飛行ルートや、空の交通網の構造、関係機関との連携ポイントを一目で把握できるマップです。



※香川県内のポイント表記については、香川県作成の「空飛ぶクルマ活用に向けた香川県版ロードマップ」を参考に作成

≫ バーティポートって何？

バーティポートとは、空飛ぶクルマやドローンが離着陸するための拠点です。空の時代の「駅」や「港」と考えると分かりやすいかもしれません。

単に発着する場所ではなく、充電や点検、運航管理、安全対策などをまとめて担います。観光や防災、物流など、さまざまな用途に対応できるように、地域の特性に合わせた形が検討されています。空とまちをつなぐ、新しいインフラのひとつです。



尼崎バーティポート



空飛ぶクルマ部会

ドローン部会と空飛ぶクルマ部会とは連携して「水島スカイグループ」として活動しています。随時、理事・会員から新規プロジェクトの提案を受け付け、必要に応じて予算化し、部会での活動に展開しています。

補助事業実績：大阪府 (R6)、兵庫県 (R6・7)、大阪市 (R6)

活動内容

試験飛行・ デモフライトの実施

サービス
提供可能

目標とする2028年度中の商用運航開始や、2030年以降のサービス拡大に向けて、テストフライトを実施。維持や修理などを行う熟練の整備士や、機体メーカーの監修の下で、安全に飛行させるために必要な知識と能力を兼ね備えた飛行オペレーターの育成も。

受注による飛行実績：宮城県、香川県、和歌山県、大分県、大分市、延岡市ほか（再委託を含む）



大分市(別府湾)での試験飛行



羽田空港第1ターミナルでの展示

空飛ぶクルマに関する 自治体等への支援業務

サービス
提供可能

自治体等が、空飛ぶクルマを活用しようとする際の計画策定、協議会運営、調査・分析などの業務を支援。イベント等での実機展示も可能。

機体展示実績：群馬県、東京都（羽田空港、羽田イノベーションシティ、東京ビッグサイト）、兵庫県、八尾市（大阪府）、延岡市、姫路商工会議所、岡山青年会議所（岡南飛行場）、笠岡市ほか多数（受託・補助・自主事業を含む）

防災減災 WG（能登復興支援）

空飛ぶクルマやドローンを活用した災害時の情報収集・輸送と、平時からの備えを進めるとともに、防災協定に基づく自治体訓練への参加や緊急時出動体制の整備を通じて、実践的な防災・減災に取り組みます。能登半島の復興支援活動にも参画します。

グループリーダー

森本 宏治

一般社団法人日本ドローンビジネスサポート協会
代表理事



能登半島復興支援活動でのドローン
使用(写真提供:DBA)



部会長 山田 哲也 三和興業ホールディングス株式会社
代表取締役社長

メンバー 旅客運送業事業者（バス・タクシー） / 自動車関連事業者 / システム設計事業者 / 観光関連団体 / 旅行業事業者 / 保険事業者 / ドローンオペレーターなど。

瀬戸内地域における空飛ぶクルマの受容性調査

慶應義塾大学との共同研究として、「岡山県における空飛ぶクルマのニーズと受容性調査」を実施。新たな産業やビジネスの創生に向けて、地域の事業者の関心度や、住民・行政等への受容性などの調査を展開。



防災訓練参加の様子 (写真提供:DBA)

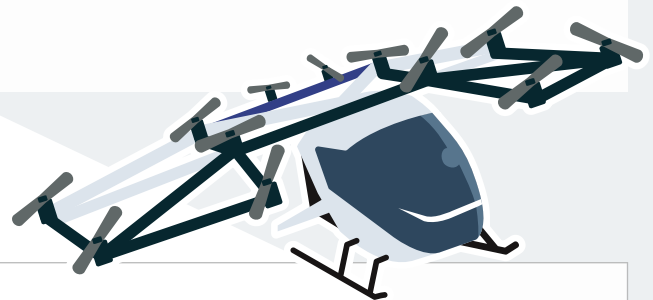


EH216-Lによる貨物用の大型機での試験飛行/能登半島(珠洲市)

サービス提供可能

空飛ぶクルマの新規ビジネスモデルの検討

「緊急搬送・防災」「物流」及び「観光・エアタクシー」の3つの領域で、ビジネス化を検討。2025年「大阪・関西万博」を契機に、取り組みを加速。



column

≫ コリドーという考え方

コリドーとは、空飛ぶクルマやドローンが安全に、継続して飛べる「空の通り道」のことです。単なる飛行ルートではなく、パーティポートや運航ルール、地上との連携まで含めた考え方を指します。点と点を結ぶだけでなく、線や面で地域をつなぐ発想が特徴です。瀬戸内のような地域では、景観や安全性に配慮しながら、観光や防災に活かすコリドーづくりが期待されています。



EH216-S(広島県福山市)

ドローン部会

Drone Section

ドローンを中核として、5G、AI、IoT、ビッグデータ、高精度測位、センサー技術などのテクノロジーを地域の実態に即して、効果的に組み合わせた事業を創出し、地域でより安心安全に暮らせる豊かな社会を目指します。

部会長 丸山 武司 瀬戸内エンジニアリング株式会社
代表取締役社長

メンバー ドローンオペレーター / ドローン運行管理事業者 /
機械設計事業者 / カメラマン / デザイン事務所 /
ドローン教習所 / 運輸業 / 観光関連団体など

活動内容

物流プロジェクト

(笠岡諸島、下津井～六口島～本島ルート/牛窓～小豆島ルートなど)

無人ドローンを活用し、高齢化・過疎化が進む離島や、交通手段の乏しい中山間部、有事の際は災害被災地へ必要物資を届けるなど、物流手段として有用性を検証。ドローンや空飛ぶ車の、将来の飛行ルートを開拓。

サービス
提供可能



ドローン物流プロジェクト/下津井～六口島フライト

コンビナート等における プラント点検/採水プロジェクト

サービス
提供可能

プラント点検や水質調査のための採水作業における、作業員の安全確保や効率化などの問題解決策の提案。無人ドローンを活用し、安全・安定的な業務に加え、効率化やコストカット、さらには環境アセスメントへの活用等を目指す。

- ・三菱ケミカル株式会社・・・鉄塔等の点検
- ・岡山県環境保全事業団・・・採水、点検など



プラント点検プロジェクト/三菱ケミカル株式会社(鉄塔点検)

子ども向け ドローン体験教室の開催

サービス
提供可能

ドローン操縦やプログラミングの体験教室を開催。MASC主催のほか、自治体や企業からの依頼による開催、学校等への出前講座も実施。



子どもドローン操縦体験/MASC水島展示場にて(当時)

ドローンパイロットの技術交流 ドローンパークの構想など

サービス
提供可能

ドローンパイロットの交流や技術習得、最新情報の共有、ビジネスマッチングの場を創出。勉強会やテストフライト、実験検証の環境を提供し、次世代の技術開発や人材の育成を目指す。



ドローンパイロットの交流、機体展示/笠岡ふれあい空港

教育部会

Education Section

先端的な学びや航空宇宙に特化したプログラムをSTEAM教育に取り入れながら、次世代を担う子どもたちの教育活動を展開しています。また企業・大学・高校との交流で、新たな価値を創造し学びへ直結する探究活動、ワークショップの展開を目指します。

部会長 津田建太郎 関西高等学校 副校長
メンバー 学校・教育関係者 / ロボットコンテスト関係者 / ものづくり教室関係者など

活動内容

児童、生徒、学生向け 宇宙開発ワークショップの開催

サービス
提供可能

岡山県内の小・中・高校で、航空宇宙に関連した「探究学習」を普及。航空宇宙産業をテーマとした高校の学科・コースと連携し、関連する学部・学科の大学への進学者の育成も。



高校生モデルロケット講座



パリにて現地高校生との交流 (写真提供: 関西高等学校)

高校生向けMASC奨学金の付与

関西高等学校「サイエンスフロンティアコース」で学ぶ生徒向けに『MASC育英金』を創設。フランスのル・ブルジェ空港で開催された航空宇宙産業の世界最大級の国際見本市「パリ・エアショー2025」への招待も。

岡山県内でSTEAM教育に 取り組む学校のネットワーク構築

岡山県下の多くの子どもたちに、航空宇宙に関する学びや経験ができる環境を提供し、県全体のSTEAM教育の底上げにつながるような教育活動やワークショップを展開。



宇宙開発WS / 月面探査車YAOKI (写真提供: 関西高等学校)



子どもたちのフライトシミュレーター体験

VR・メタバースの体験や 事業企画の検討など

展示会参加者などにVRを用いたフライトシミュレーター体験の機会を提供し、「空飛ぶクルマ」の周知や理解を促進。

観光ビジネス部会

Tourism Business Section

瀬戸内エリアを中心に、空飛ぶクルマやドローンなどの次世代モビリティを含むテクノロジーを観光分野で活用し、ビジネス化を目指します。
自治体向けのPR動画の制作なども行っています。

部会長 永田昭二 一般社団法人瀬戸内市観光協会 会長
メンバー 観光関連事業者 / 物流・運輸事業者 / パーティポート 開発関連事業者など

活動内容

サービス
提供可能

空飛ぶクルマの瀬戸内コリドーと、パーティポートの開発・実証

空飛ぶクルマが頻繁に行き交えるよう、空の通り道のような専用空域（コリドー）を、特に観光でのビジネス化に向けて、瀬戸内エリアで離発着場(パーティポート)の開発・実証を行うとともに、広く成果普及を図る。



ヘリコプターによるコリドー調査の様子



フライトシミュレーターを用いた動画制作(イメージ)

PRコンテンツの開発

(動画等の制作、VR体験プログラムなど)

サービス
提供可能

空飛ぶクルマの受容性を高めるPRコンテンツとして、エリアごとの映像・動画や、VR体験プログラムを開発。

受注実績：

兵庫県、長野県、倉敷市、ほか民間企業 多数

メディア・広報部会

Media & PR Section

MASCの活動や低空域経済圏の取り組みについて、他の部会や事務局、参加団体等と連携しながら情報を収集・整理し、わかりやすく社会に伝える広報・情報発信を担います。

活動内容

情報発信・広報企画

ウェブサイト、SNS、動画による情報発信や年次フォーラムの開催を通じて、活動の可視化と認知向上を図り、新たな連携やプロジェクト創出につなげます。



MASCウェブサイト

淡路島でのフォーラム講演

空飛ぶクルマ展示場



2023年11月、国内初の空飛ぶクルマの実機を常設する展示場を倉敷美観地区エリアにオープン。芸術・科学・未来をつなぐ架け橋となるテックラボとしての活動拠点です。

担当理事 齋藤淳一 エフエムくらしき顧問

活動内容

実機や映像などで空飛ぶクルマのリアルを紹介

「空飛ぶクルマ」実機を展示。全国各地で行った試験飛行の記録映像も上映中。機体の試乗・解説はもとより、これまでの試験飛行の実績を紹介。



くらしき空飛ぶクルマ展示場(機体展示)



イベント会場でのVRコンテンツ体験

フライトシミュレーター VR体験

サービス提供可能

VR専用ゴーグルとコントローラーによるフライトシミュレーター。空飛ぶクルマが実用化された世界をリアルに想像できるような精密な視覚情報で、実際の飛行に近い没入感を味わえる。

修学旅行の学び ハンズオン体験で楽しむ場

サービス提供可能

未来の航空技術とドローンの活用方法など、楽しみながら学べる展示スペース。実機への試乗や、テストフライトの映像鑑賞などから、空飛ぶクルマの現状について詳しくレクチャー。



展示場外観

会議 セミナー 展示会 に対応！ 設備充実のレンタルスペース



レンタルスペース利用紹介

ビジネスセミナー 技術の探求と発見の場

サービス提供可能

試験飛行の成果や展望の発表、各地での取り組みなど、最新の情報提供を行うセミナーを主催・実施。セミナー会場、会議スペースも完備、オープンシェアオフィスとしても利用可。(大型モニター8台、プロジェクター、音響設備、Wi-Fi完備)

空の未来を映像で体感する

実証飛行や開発現場、地域連携の様子を映像で紹介。

臨場感あふれる映像で、次世代エアモビリティの未来を体感してください。



EH216 が日本の試験飛行許可を取得、初飛行に成功（岡山・笠岡）



国内初の有人飛行に成功（大分）



AutoFlight V2000CGが「リフト&クルーズ型」の飛行性能を公開するフライトとして、国内初の飛行に成功（岡山・岡南飛行場～児島湖上空）



(英語版) Unlocking the Future of eVTOL in Japan with MASC



空飛ぶクルマ・eVTOLや観光用などの素材。ニュースやプレゼンなどにご活用ください。



瀬戸内コリドー計画公式ポータルを運営するDigitalSupportCrossioのサイト。

column

≫ 受け入れてもらえるかが大切

新しい技術が広がるためには、「受容性」が欠かせません。これは、地域の人たちがその存在を理解し、安心して受け入れられるかどうかという視点です。

音や安全への不安、暮らしへの影響など、気になる点は少なくありません。実際に見たり、体験したり、情報を共有することで理解は深まります。空飛ぶクルマの未来は、人の納得と共感があってこそ広がっていきます。



試験飛行後の機体見学(大分県大分市)

column



六口島フライト・ドローン映像

≫ ローカルモデルの可能性

ローカルモデルは、地方ならではの課題解決から始まります。観光や防災、医療、物流など、暮らしに直結した使い方が中心です。自治体が制度調整や安全面を支え、民間が運航やサービスを担うなど、官民が近い距離で連携できる点も強みです。小さく始め、実証を重ねながら育てていくことで、地域に根ざした持続的なモデルが形になっていきます。

column

≫ 社会実装はどこまで進んでいる？

空飛ぶクルマは、実験の段階から「実際に使う」フェーズへと進み始めています。機体の性能だけでなく、飛ばし方のルールや安全対策、事業としてどう成り立たせるかが重要になってきました。最近、観光や防災など、具体的な使い道を想定した取り組みが増えています。まずは小さく始め、地域と一緒に育てていくことが、社会実装への近道と考えられています。



淡路島フライト見学シーン

MASC

営業項目

Services

～日本の低空域経済に参入するなら MASC へ～

A デモフライト・機体展示

国内 18箇所、120回以上の飛行実績（国土交通省の許可によるフライト）。
イベント会場、ショッピングモールでの実績あり。

B ドローン、空飛ぶクルマの導入サポート（機体導入を含む）

国内外の主要な事業者等の動向をレクチャーできます。自治体の計画策定を支援します。防災 / 減災（地震・水害等）、物流、観光、医療等のユースケースに対応。

C 講師派遣、レクチャー、ワークショップ開催

空飛ぶクルマ 基礎、ビジネス、自治体向けなど。小中学生、高校生、企業向けなど。

D フライト動画・PR動画の作成

フライトシミュレーター、ドローン撮影、空飛ぶクルマの実機での撮影。
AI や CG を活用した未来ビジョンの映像化。

E 日本国内の実機展示場の見学

岡南飛行場（オートフライト機体） 倉敷美観地区展示場（イーハン機体）

≫ 会員募集 次のビジネスと社会実装につながる特典をご用意しております。

1. 航空・先端分野のネットワークへの参画

空飛ぶクルマやドローン、航空宇宙分野に関わる企業・研究者・団体が集まっています。各部会に参加し、プロジェクト立案に関与できます。

2. テストフライト・イベントへの優先参加

テストフライトや講演会、フォーラム等に優先的に参加できます。会員限定のレポートや情報を通じて、最新の技術動向や取り組みに触れる機会が広がります。

3. プレゼンス向上と連携機会の創出

航空宇宙・先端技術分野での認知や信頼性が高まり、新たな連携や協業の機会につながります。地域産業や次世代技術の発展にも貢献できます。



お申し込み方法



QRコードより、必要事項をご入力の上お申し込みください。
後日、担当者から折り返しご連絡いたします。

※ドメイン指定受信をしている場合は @masc-jp.com の受信が出来るよう設定して下さい。

参加団体
 倉敷市航空宇宙産業推進協議会（倉敷商工会議所内）
 全国航空機クラスター・ネットワーク（NAMAC）
 一般社団法人航空宇宙イノベーション推進協議会（AIDA）
 次世代モビリティ瀬戸内コンソーシアム（瀬戸内海沿岸の商工団体で構成）
 空の移動革命に向けた官民協議会
 全国科学館連携協議会
 倉敷観光コンベンションビューロー

団体名	一般社団法人 MASC(マスク)	
旧団体名	岡山県倉敷市水島地域への航空宇宙産業クラスターの実現に向けた研究会	
設 立	2017年11月27日	
法人登記	2021年4月1日	
目 的	当法人は、岡山県倉敷市において、当地における航空機製作所及び試験飛行場が昭和16年から20年ごろまで設置されていた歴史を鑑み、また現在の水島コンビナートの企業が保有するものづくり技術を、更に新しい産業分野に活かし、その周辺関連産業が、倉敷市及び高梁川流域で新たに創業したり、あるいは新事業に挑戦することで、地域のものづくりを発展させると共に、次世代に向けて「夢」を与えることが出来る先進的な技術を目指すことを目的とする。	
名誉顧問	伊東 香織	倉敷市 市長
名誉理事長	桐野 宏司	瀬戸内エンジニアリング株式会社 取締役会長
理事長	井上 峰一	倉敷商工会議所 前会頭、いのうえグループ代表 CEO
副理事長	坂本 万明	倉敷商工会議所 前専務理事
理 事	齋藤 淳一 鋤本 浩一 丸山 武司 永田 昭二	エフエムくらしき 顧問 倉敷市地域おこし協力隊 瀬戸内エンジニアリング株式会社 代表取締役社長 一般社団法人瀬戸内市観光協会 会長
理事・事務局長	坂ノ上 博史	一般社団法人高梁川プレゼンターレ 代表理事
相談役	山田 哲也	三和興業ホールディングス株式会社 代表取締役
アドバイザー	小池 良次 大貫 美鈴 村山 公保	アエリアル・イノベーション LLC. CEO スペースアクセス株式会社 代表取締役 倉敷芸術科学大学 教授
監 事	秋田 修一	秋田税理士法人 代表社員
特別協賛	サンワサプライ株式会社	
協 力	倉敷市 倉敷商工会議所	